

特別展

磁陶の宝

大阪市立東洋陶磁美術館の至宝
Captivating Form, Timeless Beauty: Masterpieces from the Museum of Oriental Ceramics, Osaka

2023.7.11(火)～9.3(日) 九州国立博物館 | 太宰府天満宮横

開館時間 | 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館(入館は午後7時30分まで) ※夜間開館の実施については、HPでご確認ください。
休館日 | 月曜日、7月18日(火) ※ただし7月17日(月・祝)、8月14日(月)は開館 ●本展は会期中に展示替えを行います。

上：重要文化財 青花牡丹唐草文盤(部分) 中国・景德鎮窯 元時代 14世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(東畑謙三氏寄贈) 下：国宝 飛音磁花生 中国・龍泉窯 元時代 14世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション) 撮影：六田弘弘氏

「やきもの」の
キラ星 九州へ

憧れの



リレー講座 これであなともやきものツツ!

「日本文化になった東洋陶磁」

守屋雅史氏(大阪市立東洋陶磁美術館館長、40年の歩み)

「中国陶磁への誘い」

小林仁氏(大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理)

「韓国陶磁への誘い」

鄭銀珍氏(大阪市立東洋陶磁美術館主任学芸員)

酒井田千明(当館主任研究員)

第1回 日時：2023年7月15日(土) 午後2時～午後3時30分

第2回 日時：2023年8月12日(土) 午後2時～午後3時30分

会場：九州国立博物館1F ミュージアムホール 定員：270名 ※変更する場合があります。

※聴講は無料ですが、本展観覧券(半券可)もしくは二次元バースコードからの申し込みが必要です。

【関連イベントお問い合わせ】「東洋陶磁展関連イベント」事務局(読売新聞西部本社事業部内) TEL092-715-6071(平日午前10時～午後5時)

観覧料 | 一般1,700円(1,500円)、高大生1,500円(1,100円)、小中生900円(700円) ※()内は前売り料金

お得なセット券、特典付き観覧券も一部レバカバ限定で販売します。

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

交通案内

■最寄り駅：西鉄太宰府駅から徒歩約10分

■最寄りの駅へのアクセス

【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で西鉄二日市駅まで、西鉄太宰府線まで徒歩約12分、バス約6分、

【JR】JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、

【西鉄バス】博多バスステーション(1階1番のりば太宰府行き)から太宰府下車(約40分)

【九州自動車道】太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分

※身障者用駐車場はからの入口からでも入れます ●駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。



チケットアプリで簡単購入!
スマホだけで入場OK! アプリだけの特典付き!!
Art Exhibition JAPAN
公式チケットアプリ
アプリダウンロード(無料)は
こちらの二次元バースコードから

主催＝九州国立博物館・福岡県、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社 共催＝(公財)九州国立博物館振興財団
助成＝(公財)福岡文化財団 特別協力＝太宰府市、太宰府市商工会、太宰府観光協会、日本工芸会西部支部

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 www.kyuhaku.jp ハローダイヤル 050-5542-8600 (午前9時～午後8時/年中無休)

前売り券販売期間/4月18日(火)～7月10日(月) 販売場所/美術館/美術展マセキアート、チケットぴあ(セゾングループ)、チケットぴあ(セゾングループ)、チケットぴあ(セゾングループ)ほか、各印は前売り券のみ取り扱い
※上記料金で九州国立博物館「文化交遊展(平常展)」もご覧いただけます ※隣り合わせの展示室1名は無料です、展示室入口にて販売手数料等(詳細は
※上記料金で九州国立博物館「文化交遊展(平常展)」もご覧いただけます ※隣り合わせの展示室1名は無料です、展示室入口にて販売手数料等(詳細は
金銭が適用されます。 ※購入の際にクレジットカードによって手数料が発生する場合があります。 ※ほか詳細は当館ホームページにてご確認ください。

※ご応募の際にいただいた個人情報、本件の連絡にのみ使用いたします。

※応募人数が定員に達しない場合のみ、当日受け付けを行います。

※応募多数の場合は抽選とし、当選者の発表は聴講券の発送をもって代させていただきます。

読売新聞西部本社事業部内「東洋陶磁展関連イベント」事務局

〒810-8581 福岡市中央区赤坂1-16-5

【送り先】

氏名を明記の上、下記宛にお送りください。

人数(1通につき2名まで)を、返信用表裏には代表者の郵便番号、住所、希望者全員の氏

【方法】往復はみき、もしくは当館ホームページ内の申し込みフォームからご応募ください。往復はみ

きの往信用表裏には、郵便番号、住所、希望者全員の氏名(ふりがな)、代表者電話番号、

締切：2023年6月23日(金) 必着

トクセシヨ 事前申し込み方法

日時：2023年7月29日(土) 午後1時30分～午後3時(午後1時間場) ※事前申し込みが必要です。

井田千明(当館主任研究員)が大阪市立東洋陶磁美術館の名宝について熱く語ります!

中里太郎右衛門氏、今泉右衛門氏(重要無形文化財保持者)、酒井田千明右衛門氏と酒

トクセシヨ 三右衛門が熱く語る「憧れの東洋陶磁」

関連イベント情報

国内に2点のみ！
まぼろしの汝窯青磁を
同時公開



せいじすいせんぼん
青磁水仙盆

中国・汝窯 北宋時代 11世紀末-12世紀初
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション)



せいじばん
青磁盤

中国・汝窯 北宋時代 11世紀末-12世紀初
東京国立博物館(香取國臣氏・芳子氏寄贈)



せいかれんちぎょそうもんつぼ
重要文化財 青花蓮池魚藻文壺

中国・景德鎮窯 元時代 14世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション)

中国陶磁



せいじこっかぼたんからくさもんへい
重要文化財 青磁刻花牡丹唐草文瓶

中国・福州窯 北宋時代 11-12世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション)



ごさいぼたんもんぼん だいみんぼんれきねんせい めい
五彩牡丹文盤(「大明萬曆年製」銘)

中国・景德鎮窯 明時代 16-17世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション)



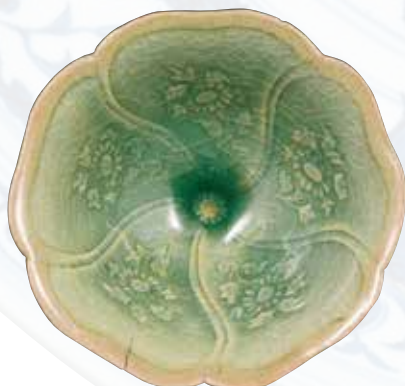
とびせいじはいけ
国宝 飛青磁花生

中国・龍泉窯 元時代 14世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション)

いずれの時代においても、日本人が大切に受け継ぎ、いつくしんできた東洋陶磁は、まさに日本文化そのものといっても過言ではありません。本展では、世界的に評価の高い大阪市立東洋陶磁美術館の所蔵品から、**国宝2件、重要文化財12件を含む、選りすぐりの名品88件をご紹介します。**
(全112件)

古来、海を越えて日本に渡ってきた中国や韓国の陶磁は、貴重な唐物として大切に扱われてきました。これらの東洋陶磁は、日本の儀式・室礼における喫茶の道具や調度として、茶の湯や食膳で用いる器として、私たちの暮らしに深く浸透してきました。近代には本格的に研究が開始され、その進展と共に熱心な収集が行われて数々のコレクションが誕生しました。

韓国陶磁



せいじようこくきっかもんりんかかたわん
青磁陽刻菊文輪花形碗

韓国 高麗時代 12世紀
大阪市立東洋陶磁美術館
(住友グループ寄贈／安宅コレクション)



ふんせいしろじそうかんじうせんもんほ
粉青白地象嵌条線文簋

韓国 朝鮮時代 15世紀
大阪市立東洋陶磁美術館
(住友グループ寄贈／安宅コレクション)



せいかしんしゃれんかもんつぼ
青花辰砂蓮花文壺

韓国 朝鮮時代 18世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館(安宅英一氏寄贈)

室町将軍家の御殿の 床飾りを再現！

永享9年(1437)の後花園天皇の室町殿行幸で飾られた伝徽宗と玉潤の名画を会所の室礼にならい青磁の花生・香炉と組合わせて展示します。



せいじほうおうみみはいけ
重要文化財 青磁鳳凰耳花生

中国・龍泉窯 南宋時代 13世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション)



しゅうけいとうけいさんすいず きそう
国宝 秋景冬景山水図 伝徽宗筆

中国 南宋時代 12世紀 京都・金地院 [展示期間] 7月11日(火)～8月6日(日)



日本伝世の 「油滴天目の双璧」

国宝(大阪市立東洋陶磁美術館所蔵)と重要文化財(当館所蔵)の油滴天目が並びます。銀色の斑紋の比類なき美しさと端正な立ち姿をご堪能いただきます。

大阪市立東洋陶磁美術館所蔵品は、すべて六田知弘氏撮影

8Kで文化財 ふれる・まわせる名茶碗

かたちも重さも実物の文化財そっくりに制作した茶碗型ハンズオンコントローラーを動かして、8Kモニター上の高精細画像を360度好きな角度から鑑賞できる、体験型デジタルコンテンツを展示します。

※文化庁「令和3年度 地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業(先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト)」により制作(コンテンツ制作：文化財活用センター 制作協力：九州国立博物館・愛知県陶磁美術館)



大阪市立東洋陶磁美術館

1982年、大阪中之島に開館。国宝2件、重要文化財13件を含む計5,711件の貴重なコレクションは、質量ともに世界随一を誇ります。※2024年春のリニューアルオープンに向けて改修工事のため休館中
<https://www.moco.or.jp/>

